

上田市子ども・子育て支援事業計画の見直し経過と概要

1 概要

上田市子ども・子育て支援事業計画（平成 27 年度～平成 31 年度）の中間年にあたる今年度、国の基本指針により平成 30 年度から平成 31 年度までの計画について見直した。

国の基本指針では、「保育・教育の量の見込み及び確保の方策」について、平成 28 年 4 月 1 日時点の支給認定区分ごと（1～3 号認定）の子どもの実績値が、計画における量の見込みよりも 10% 以上かい離がある場合は見直しが必要としており、併せて、「こども・子育て支援事業」の「量の見込み」についても見直した。

2 経過

（1）見直し作業

平成 28 年度子育て支援事業実施状況調査
関係課見直し作業（関係 14 課、会議 2 回開催）

（2）見直し案審議

上田市子ども・子育て会議（20 名、会議 3 回開催）
パブリックコメント（平成 29 年 12 月 1 日～12 月 22 日、意見 2 件）

3 内容

「現状と課題」「施策の内容」の見直し（計画第 4 章）

本計画では、「すべての子どもが笑顔でしあわせに暮らせるまち」を基本理念として、目指すべき基本目標に向けた基本施策を示した計画である。計画策定から 2 年が経過し社会情勢が変化する中で、現状と課題、施策の内容を補完する形で追加・修正する。

【主な追加・修正点】

- 妊娠・出産期の支援...「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援」の追加
- 病児保育...「病児保育センターでの保育の提供体制の充実」の追加
- 障がいのある子どもへの支援の充実...「第 1 期障がい児福祉計画策定」による追加
- 子育てしやすい環境の整備...「市営住宅等長寿命化計画策定」による修正
- ワーク・ライフ・バランスの推進...「第 4 次男女共同参画基本計画策定」による追加

用語の解説

「量の見込み」・・・利用状況とニーズにより把握するサービスの量の見込み

「確保の方策」・・・「量の見込み」に対応するサービス提供体制確保の内容

「1 号認定」・・・満 3 歳以上で教育を希望する子ども

「2 号認定」・・・満 3 歳以上で「保育の必要な事由」に該当し、保育を希望する子ども

「3 号認定」・・・満 3 歳未満で「保育の必要な事由」に該当し、保育を希望する子ども

教育・保育の「量の見込み」「確保の方策」の見直し（計画第5章）

計画における見込みと実績値との比較で 10%以上かい離は生じてないが、出産後の女性の職場復帰が加速しているなど、3歳未満児の入所希望者が増加し、3号認定において量の見込みを実績値が上回っている（H28 計画 1,239 人 実績 1,337 人[8%増]）ことから、計画値以上に0～2歳児の保育ニーズが高まっている想定ニーズに対応して「量の見込み」を上方修正する。あわせて企業主導型保育事業や地域型保育事業の参入が想定されるため「確保の方策」も修正する。

それでもなお「量の見込み」に対して「確保の方策」が不足してしまうことから、保育士の確保や保育施設の整備を進め、確保対策を行う。

区分		29年度 見込	見直し後	
			平成30年度	平成31年度
3号認定	量の見込み	1,276人	1,398人	1,424人
	確保の方策	1,337人	1,385人	1,390人

地域こども・子育て支援事業の「量の見込み」の見直し（計画第6章）

各事業で不足は発生してないが、人口ビジョンによる児童推計等から各事業の実施状況に応じて見直し、下記のとおり修正する。

事業名	29年度 見込	見直し後	
		平成30年度	平成31年度
地域子育て支援拠点事業	89,558人	90,837人	92,116人
妊婦健康診査事業	15,330回	15,050回	14,770回
乳児家庭全戸訪問事業	1,063件	1,044件	1,026件
養育支援訪問事業	1,050回	1,038回	1,014回
子育て短期支援事業			
ショートステイ	30人	25人	25人
夜間支援	0人	8人	8人
一時預り事業			
幼稚園	45,589人	45,833人	46,029人
幼稚園以外	6,868人	8,621人	8,879人
病児・病後児保育事業	589人	589人	767人
放課後児童健全育成事業	1,173人	1,205人	1,230人

4 見直し計画の施行

・平成30年4月 1日